

音楽を活用した地域づくり

—長野県・信州おとのおプロジェクトの可能性—

南澤優衣

様々な課題が存在している現代の社会ではウェルビーイングへの関心が高まっており、身体的、精神的、社会的な充実が重要視されている。充実した幸せを感じるためには、充足感のある居場所が必要であり、その最も身近な例として地域社会が重要だと考えられる。

そんな中近年では、地域社会で“音楽”をきっかけとしたコミュニティの構築が活発に行われており、人と街が活気づいている事例が多数存在している。

そこで本論文では地域づくりにおける音楽の役割を明らかにするべく、実際に音楽を活用した地域づくりの事例調査を行った。また、2023年に長野県で始動した信州おとのおプロジェクトの活動を取り上げ、地域での音楽活用の可能性について検討した。その結果、音楽には、人と人の様々な繋がり方を可能にする役割や、地域ならではの特色や文化との親和性が高く地域の新たな魅力を創造する役割があり、音楽は持続可能な地域づくりを支える1つの選択肢となっていることがわかった。また、音楽を用いたまちづくりの代表的な例として各地で音楽イベントが開催されていることも明らかとなった。今後は各地で展開する音楽イベントの将来性に着目し、運営主体やイベントを長期的に支える仕組みについて研究していくことが課題として挙げられる。